

# ガーナでそろばんプロジェクト 62号(2017年 4月 13日)

## ★★ 雨降りは好きですか ★★

ハマタンの季節が終わると、ガーナにまた暑い時期が戻ってきます。毎年、ハマタンの季節が少しづれこんできているように感じます。ハマタンだけでなく小雨季と呼ばれる時期もずれてきているように感じます。3月から暑い時期に入ると雷を伴った雨が強く降る時期でもあります。しかし、今年は去年に比べるとその雨も少なく降り方も例年に比べると弱いように感じます。これから5月6月とガーナ特有の土砂降りの雨が降るのでしょうか。ガーナの人は雨が好きという人が大半です。雨が降ると涼しくなり、フレッシュウォーターと呼ぶ雨水を溜められるからです。溜めた雨水は、洗濯や水浴びに使います。今でこそ蛇口をひねれば水が出てくる生活をしているもの、数年前まで雨水必須の生活をしていた私も雨水が溜められる事から雨は好きでした。今も雨は好きですが、ガーナの雨は時として災害をもたらすので好きとは言いきれません。また、活動にとっても雨は大敵です。村に行く日、朝から雨降りだと移動が危険なため活動は中止となります。またこれまで何回かそろばん教室の雨に関する物語を書きましたが、アクラを出る時には降っていない雨がアフィエに向かう途中で降り始めると、とても不安になることも否めません。不安の中、子どもたちが教室に来てくれるととても嬉しく思うのです。3月のそろばん教室開室の日も雨の日ならではの物語がおきました。この日、十二時15分前に学校に到着しました。日曜日の学校は小さな教会コミュニティに教室を十二時まで貸し出しをしています。去年9月頃より教会コミュニティが使用した後の教室を使っています。この日は十二時より前に終わっていたようでした。教室で子どもたちを待っているとコンスタンスとキディオンが一台の自転車で行って来ました。十二時少し前のことです。雨がパラパラと降りだし始めた時にパトリックが走ってやってきました。パトリックが教室に入ったとたんに土砂降りの雨に変わりました。

間一髪、土砂降りの雨に打たれることなくパトリックが教室に入れたので嬉しく思いました。この日の雨は、真つ黒な低い雨雲では無かったように思います。風を伴った雨は教室に入りこんできたり雨漏りとなって、子どもたちのそろばんを弾く手を時々邪魔したものでした。この日は、コンスタンスの8級検定の日でもありました。検定の前に練習終了のご褒美で手にしたマイそろばんが吹き込んでくる雨で濡れてしまうのではと気になってしまいましたが大丈夫だったようです。吹き込んでくる雨や雨漏りに一番に気を取られていたのはセテムだったようです。この雨は結局2時間近く降り続けました。そろばん教室をしていて、日々いろんな物語が生まれる中こうして雨にまつわる物語が後になってみると大好きなものだったりします。

報告TOSHIO



協賛

トモエそろばん様